



日本医療機能評価機構認定病院
公立山城病院新聞

2007
Oct

YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院
発行元責任者 中埜 幸治

第四回 病診連携会議開催

9月1日土曜日14時から公立山城病院会議室において相楽医師会主催の病診連携会議が開催された。今回は、「病診連携・地域医療を充実させる為に」をテーマに活発な意見交換が行われた。

相楽医師会会長・飯田泰啓先生の開会挨拶の中で、「日本の地域医療全体を見たら医療崩壊の危機にある。それは政治的な問題、医療体制など様々な課題があるがその中で相楽地域医療を充実させる為に今何か出来るのか、この会を開き病診連携・病病連携を考えたい。」と述べられた。

次に公立山城病院中埜幸治院長から「良質な医療を提供するのは我々のミッションである。それぞれの医師の思いがある中でどうしたら病診連携・病病連携がうまくいくのか、患者様の思いも考えながら行っていかねばならない。相楽の地域住

民の健康を守り住民の皆様が安心して暮らすことが出来る医療を提供するのが我々の祈願である。」と公立山城病院の現況及び救急診療のあり方について話が あった。

公立山城病院の石田大志副管理者から公立山城病院の今後について、「行政における山城病院の立場は救急医療においても中心的な役割を担うこととされ

ている。山城病院の経営は厳しいのが現状であるが、患者本位の医療に勤め、病診・病病連携を強化する事が大切である。また医療として顧客満足度を高め、いく事も大切と考えている。山城病院のお客様は地域の診療所であり患者様はお客様のお客様であると考えている。役割として大切なのは地域医療の支援機能や救急医療体制の取り組みと考える。相楽地域の医療確保のシステムづくりにこの会が大きく貢献する有意義なものになりますよっ心から願っている。」

と述べられた。

学研都市病院・公立山城病院における救急症例受け入れ態勢・現状報告と課題について忌憚のない意見交換が行われた。活発な質問がされる中、会議は予定時間を延長し進行した。最後に相楽医師会館の設立と輪番制による救急診療について質問があり、設置場所の未解決問題も多く進展していない状況が報告され地域医療推進の課題として残されることになった。

最後に閉会の挨拶を相楽医師会副会長藤木新治先生がされ会議が終了した。

参加人数
相楽医師会 20名
学研都市病院 2名
公立山城病院 27名
山城南保健所 2名

毎年秋に開催されるこの会も今年で4年目になりました。参加された皆様ありがとうございました。



診療科紹介

《脳神経外科》

公立山城病院の脳神経外科は、平成14年4月から本格的な診療を開始し、現在常勤医師2名体制で入院及び外来診療を行っています。

外来日は月・水・金の週3日で火曜は定期検査日（脳血管撮影など）、木曜が定期手術日となっています。ただ手術は臨時および緊急手術が多数を占めます。

脳神経外科の3大疾患は、脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷です。いずれも手術によって多くの方が完治され、無事にご退院されておりますが、重症の場合には命に関わることになったり、残念ながら後遺症を残す場合があります。発症した時に完治を目指す適切な治療を行うのは当然のことですが、平素から脳疾患にかからぬよう予防を心がけることが大切です。高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙などは脳卒中（脳出血・脳梗塞・クモ膜下出血）の危険因子なので、日頃から十分にチェックすることが重要です。また当科では、脳卒中の

発症予備軍である未破裂脳動脈瘤や頸部内頸動脈狭窄のある患者さんには、早期に治療を行って脳卒中になることを防ぐようにしています。

身内がクモ膜下出血をおこされた方や、高血圧症・高脂血症や糖尿病を指摘された方や、少しでも頭の変調を感じられた方は早期に医師の診察を受けられるようお勧めします。

当科は、京都府南部地域唯一の公的病院脳神経外科として、また山城南医療圏唯一の脳神経外科として、その重責を果たすべく努力しております。ただ、常勤医師2名では全ての救急事例に対応仕切れない場合があることは残念です。

幸い最新の高度医療機器を備えておりますので、これらを駆使して安全確実な手術を心がけています。また特別な症例にはその専門医師を他院から招聘するなど、常に最先端の治療を行っております。

今後とも地域の皆様の健康維持に貢献できるよう最善の努力を重ねてまいります。

（脳神経外科部長・岩本芳浩）

《神経内科》

神経内科が他の診療科と違うところは次のようなところでしよう。

アナムネ（問診）をとって診察をしてそれで診断がついてしまう。アナムネで今までの経過から病気の性質をつかむ（変性疾患なのか、脱髄性疾患なのか、など）、そして診察をして病気の場所をつかむ（脳なのか、脳のどこなのか、脊髄か、脊髄のどこか、など）。MRIも脳波も筋電図も診断を確認するための道具です。神経内科医は経験でものを言っただけではない。抜け目のない観察力とそれを裏付ける過去の報告だけが、有用な情報とされる。

今の時代、研究に言うならば、学会発表や論文執筆のためには画像検査や電気生理学的検査などの裏づけがなければ難しいです。しかし、を読んで頂ければ解ると思いますが、神経内科医は基本的にはどんな田舎の病院にいてもちゃんとした診療ができるのです。また、著名な先生がいなければ、新しいことに挑戦できない、なんてこともありません。経験なんかあまり役に立た

ないのですから。しかし、丁寧な症例を診てゆくことと、自分が行っている医療に対して、常に文献的な裏づけをしてゆくことが求められます。神経内科医であると胸を張るためには、常に勉強しなければなりません。

私がライフワークとして関心をもっているのは高次脳機能と不随意運動です。忙しい診療の合い間に、なにか新しいことを発見できないものかと、日々、注意をはらっています。もう二、三人神経内科医がいれば余裕のある診療ができるのですが……。

（神経内科部長・狐野一葉）



平成19年度 京都府総合防災訓練

8月26日(日曜日)、京丹後市にて行われた平成19年度京都府総合防災訓練に緊急災害医療チーム(DMAT)として参加しました。

抜けるような晴天の下、医療機関・警察・消防・自衛隊等約70機関1000人以上が集結した今回の訓練は、京丹後市にて震度6弱の地震が起こり沿岸部地域で津波、土砂災害、家屋倒壊、火災が発生、また道路が寸断され負傷者の搬送や支援助資輸送が困難という状況を想定した大規模なものであり、その中で当院は中等傷者担当として救護テントの一角に活動スペースを頂きました。



災害診療の様子

大規模災害は決して他所事ではなく、誰の上にも振りかかってくる可能性があるのだということを常に念頭に置いて、住民の皆様が安心していただけるよう災害医療チームとしての完成度を更に高めていこうとの決意も新たにされた災害訓練でした。



ヘリコプターでの訓練

診療とは全く性質が異なるものであり、まだまだ災害医療に不慣れな当院チームは、こういった訓練の重要性を痛感するところとなりました。大規模災害は決して他所事ではなく、誰の上にも振りかかってくる可能性があるのだということを常に念頭に置いて、住民の皆様が安心していただけるよう災害医療チームとしての完成度を更に高めていこうとの決意も新たにされた災害訓練でした。

消防隊によって次々と運び込まれてくる傷病者を迅速に判断し、手当て・治療後すぐに後方機関へ搬出していくという一連の流れは病院内での診療とは全く性質が異なるものであり、まだまだ災害医療に不慣れな当院チームは、こういった訓練の重要性を痛感するところとなりました。大規模災害は決して他所事ではなく、誰の上にも振りかかってくる可能性があるのだということを常に念頭に置いて、住民の皆様が安心していただけるよう災害医療チームとしての完成度を更に高めていこうとの決意も新たにされた災害訓練でした。

地域医療連携室は、平成16年に開設し、平成17年5月より、現在の場所(1階脳神経外科診察室横)に移動して、本格的に業務を開始しました。室長(医師)1名、看護師1名、メディカルソーシャルワーカー2名、事務員3名の計6名で業務にあたっております。

主な業務内容は、他病院・診療所との連携、入院患者様・外来患者様に対する医療相談を行っております。につきましては、他病院や診療所からの診察予約及び、内視鏡やCTなどの検査予約、他病院や診療所への様々な配布物の準備、発送などを行っております。その他、毎年、相楽医師会が主催となり開催される「病診連携会議」の各関係機関への連絡調整なども行っております。につきましては、メディカルソーシャルワーカーを中心に、介護保険制度や障害者自立支援法など、様々な制度についての説明や相談、自宅へ退院される際の様々な調整や、他病院へ転院される際の転院先病院の紹介などの業務を行っております。

地域医療連携室の紹介

主治医や看護師、リハビリスタッフなどと連携して、病状や生活歴などを把握し、各関係機関と連携を取りながら、患者様が円滑に自宅に退院して頂けるよう、また、他病院への転院に關しても円滑に転院して頂けるよう、心がけて業務にあたっております。

地域医療連携室に御用の方は、1階正面受付にてお声掛け頂るか、直接、地域医療連携室まで来て頂きましたら、対応させて頂きます。

相楽地域における中核病院の地域医療連携室として、その責務を果たせるように日々努力していきたいと思っております。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願致します。



スタッフ一同

病院を上手に利用しましょう

* ホームドクターを持ちましょう。

普段は自宅の近くに、かかりつけの医院を決めて風邪などの時や、お薬で症状が安定している場合の時にみてもらうとよいでしょう。症状の悪化や、いろいろな検査が必要な時は入院施設がある病院を紹介してもらえます。

* 紹介状をもらってから受診しましょう。

入院が必要な時や詳しい検査が必要な時はホームドクターから地域連携室に連絡を入れてもらい、紹介状を書いてもらってください。当院受診の当日は、紹介状を受付で渡してください。また、当院受診中の方でセカンドオピニオンを希望される場合はお気軽にお申し出ください。当院からの紹介状があれば紹介先の診察がスムーズにいけます。

* 医療相談を利用しましょう。

こんな症状があるが、どの科を受診したいのかわからない場合や、こんな治療方法があるか？など相談に応じています。医療相談を希望される方は正面受付で声をお掛けください。

* 健康保険証などは忘れずに。

保険証を忘れた場合でも診察は受けられます。当日は一時金をお預かりし、後日精算が出来ます。

公立山城病院の事を中心に説明させていただきます。他病院になりますと若干システムが異なる場合もございますのでご了承ください。

(看護部外来看護師)



院内キャリアアップ支援 二人目の声

人生の折り返し地点を過ぎ、このままでいいのか？少しあせりもありました。

感染管理を学びたい、深めたい。迷いながらも退職を決意、学習支援は若い看護師が対象だと、病院からの支援はあきらめていました。しかし、同僚の応援と組織のキャリアアップ支援があり、在籍しながら半年間感染管理認定看護師養成機関で勉強する事になりました。

人生80年、五十路を過ぎたこの年になって念願の夢に向かってチャレンジすることが出来ました。

看護師 藤井 美奈子



職員のキャリアアップ支援も二人目になりました。今後も職員一人一人がキャリアアップしていけるよう応援していきます。

院内教育委員会

豆知識

尿管結石



生涯のうち20〜25人に一人がかかると言われます。尿管結石の最も多い時期は7〜9月で、発汗による脱水が原因とされます。それでは水分を多く摂取することがよいのかと云うことになりませんが、すでに結石が尿管内にあり、利尿をつけるのを優先する時期ならともかく、新たな結石の産生を防ぐと言つことなら問題があります。水のみを飲むことが出来ればよいのですが、シュウ酸やプリン体を多く含む飲み物を飲んでしまう場合があります。シュウ酸やプリン体は結石の原因になります。結石の原因物質を多く含んでいる飲み物を飲んでいると、石に栄養をやって育てていることになります。また運動不足も結石形成の要因であり、適度に体を動かし、生活に気をつける。メタボリック症候群と同様の注意が必要なようです。シュウ酸の多い飲み物は、お茶、コーラ、果汁ジュース、プリン体の多い飲み物はビールです。尿管結石予防、熱中症予防の為に上手な水分摂取をして下さい。

(泌尿器科)



「食欲の秋」には食生活を見直しましょう！

秋は食材が豊富で、何でも美味しく感じられる季節です。「ついつい、食べ過ぎてしまった」ということのないよう、**腹八分の量**に控えて食べましょう。但し、腹八分の量には個人差があるので、お腹いっぱいになるまで食べるのではなく、「もうちょっと食べたい」というところで、「やめておこう」と思うようにするとよいでしょう。

また、最近簡単に調理ができる肉や魚料理中心に食卓に並び、「**野菜や海藻・きのこ類**」が不足がちになる人が多くなっています。色々な野菜が年中出まわっていますが、旬の野菜をはじめとして「**野菜や海藻・きのこ類**」を**毎食とり**、野菜不足による偏った食事にならないよう食生活を見直しましょう。（但し、腎機能が低下している方は、野菜の摂り方に注意が必要です。）

秋から冬にかけて旬をむかえる野菜



第2回 住民医療フォーラムのお知らせ



メインテーマ：ご婦人の癌にご用心

1. 卵巣がん・子宮がんの早期発見（各年代の婦人病と性器出血）講師：産婦人科 澤田部長
2. 乳がん・甲状腺がんの早期発見 講師：乳腺・内分泌外科 中井副院長
 コメンテーター：京都府山城南保険所 中村所長
 日時：平成 19 年 11 月 9 日（金）午後 2 時～4 時
 場所：公立山城病院 9 階会議室
 参加費：無料・申し込み不要

第7回 あじさい会のお知らせ

今回は日程の都合上、住民医療フォーラムと合同にて開催させていただきます。

ご了承お願いいたします。

対象：乳房の手術を受けられた患者様

参加希望の方は外来看護師又は、6病棟詰所にお申し出ください。

たくさんのご参加お待ちしております。

公立山城病院 職員募集

〈 看護師・助産師 〉

応募資格：昭和43年4月2日以降の出生者で、免許取得者に限る。

（平成20年3月卒業見込者も可、但し国家試験合格を条件とする。）

申込時必要書類 * 申込書（公立山城病院 総看護師長室、庶務課にあります）

* 履歴書（必要事項を記入押印し、撮影後3ヶ月以内の写真を添付してください）

* 健康診断書（当院所定の用紙）、免許書又は卒業見込証明書

* 印の書類はホームページからダウンロード可能です。

募集人数：60名

受付期間：四次・平成19年10月15日（月）～10月31日（水）

五次・平成19年11月20日（火）～12月5日（水）

受付時間：午前9時00分～午後5時00分

受付場所：公立山城病院 総看護師長室（不在時庶務課）郵送も可能です

試験日時：四次・平成19年11月2日（金）午前9時00分～

五次・平成19年12月9日（日）午前9時00分～

待遇 地方公務員、ボーナス年2回（4.45月分）

昇給年1回（勤務成績良好なもの）

お問い合わせ 公立山城病院 総看護師長または庶務課（ 0774-72-0235 ）



第6回 生活習慣病フォーラムのお知らせ

内臓脂肪をどうしたら減らせますか？

どうしたら改善できますか？

日 時：平成19年10月28日（日）午前10時～12時

場 所：公立山城病院 9階 会議室

参加費は無料です。お気軽にお越し下さい。



公立 山城病院

〒619-0214

京都府木津川市大字木津

小字池田 74 番地の 1

Tel 0774-72-0235

Fax 0774-72-2155

予約変更時

Tel 0774-72-2314

ホームページアドレス

<http://www.yamashiro-hp.jp>

編集後記

予想通り酷暑だった夏が過ぎ、ようやく朝晩に涼しさの感じられる季節になりました。これから段々と気温差が激しくなりますが体調管理に気をつけて、味覚も視覚も楽しみが多い秋を満喫しましょう。

公立山城病院新聞は、この第5号目で一周年を迎えます。これを一つの節目として、今後も更に皆様と親しんでもらえる紙面作りに励むと共に公立山城病院がより身近な存在となれるよう努めて参りたいと思います。

公立山城病院 広報委員会